令和5年度 常総市立菅生小学校グランドデザイン

茨城県教育目標

〇一人一人の能力を開発 し豊かな人間性を培う 〇じょうぶな身体をつく

りたくましい心を養う 〇郷土を愛し協力し合う 心を育てる

いばらき教育プラン (茨城県総合計画より)

基本理念「活力があり、 県民が一番幸せな県」 Ⅲ「新しい人財育成」

茨城県の未来をつくる「人財」を育て、 日本一子どもを産み育てやすい県

めざす学校像

安全安心な学校 信頼される学校 地域とともにある学校

合

「す」すんで学ぶ心 主つの 心を 「が」んばり抜く心 育てる 「お」もいやりの心

進んで学び、なかよく助け合い、心身ともに健康な児童を育てる

めざす児童像

知	体	徳
自分から学ぶ子	元気に活動する子	思いやりのある子
自分の言葉で表現する子	命を大切にする子	協力し合う子
学びを深める子	丈夫な体をつくる子	自分の責任を果たす子

組織目標 「ほっとな絆」で心が動き育つ学校づくり ~「学校が好き」「人が好き」を活力に学び続ける児童の育成

RPDCAによる改善・充実

がある。 きかで学が心

確かな学力の育成

児童一人一人の問いを引き出す、個別最適な学びの実現

- 〇「菅生小学習スタンダード」の定着
 - 学習過程と学習規律の徹底
 - ・1人1台端末の日常的、効果的な活用
- ○学習のねらいに沿った振り返りの充実
- ・振り返りの視点「わ・が・と・も」の実践
- ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組
- ・インプット アウトプットの学習活動のバランスの工夫 (3段階法による学習ステップを意識した授業)
- ・「問い」「問う」ことから始める試行錯誤の授業展開
- 〇「学力向上ロードマップ」を活用した PDCA サイクルによ る授業改善と研修の充実
- ○家庭と連携した家庭学習と自主学習の定着
 - 1人1台端末の持ち帰りと活用の日常化

心身の健康と体力の向上 運動に親しむ環境を整え、心身ともにたくましく、ねば り強い児童の育成

- 〇よい姿勢、体幹づくりの推進
- ・毎朝の「立腰タイム」の実施
- 〇誰もが積極的に取り組める体育のユニバーサルデザイン ・低学年→中学年→高学年の系統性を意識した「見てわ かる」「すぐに取り組める」体育授業の工夫
 - 楽しみながら投力、持久力の向上を目指すチャレンジ 学習の実施
- ○感染症予防・虫歯予防対策の強化
 - 全ての活動における感染症予防の継続
 - 歯科保健指導の充実
- ○視機能低下対策の強化
- 生活習慣の見直しや児童の意識向上をねらった指導
- 〇食育の充実と推進
 - ・栄養教諭による食育指導と食育集会の実施

常総市の教育基本目標

「夢をいだき未来を創るほっとな絆の常総教育」 未来に夢をもち「生きる力」を育む学校教育の充実

- ◆確かな学力の育成
- ◆豊かな人間性の育成
- ◆心身の健康と体力の向上
- ◆郷土愛の醸成
- ◆人権教育の推進

求める教師像

情熱あふれる教師 一人一人を大切にする教師 工夫を惜しまない教師

保幼小中高連携

保幼小中高連携を深め 目指す児童生徒像を共有する

豊かな人間性の育成心のよりどころとなる学級づくりを推進し、心豊かな児童 の育成

- ○学級経営の充実
 - 学級活動における話合い活動の充実
 - ・目的意識・相手意識をもたせる他学年との協働企画
- 〇縦割り班活動と「すがおタイム」の実施 〇人権感覚の醸成と人権教育の充実

- ・人権通信「ふれあい広場」の作成と周知 ・校内いじめ防止対策委員会での支援体制の強化 (生活アンケート・教育相談・スローガン作成)
- ・児童が主体となった人権集会の実施
- 〇コミュニケーションカの育成
- 心をこめたあいさつ
- ふわふわ言葉の実践
- ・感謝力を身に付ける「しあわせメッセージ」の掲示
- 〇スクールカウンセラーとの連携

地域人財・地域資源の活用と協働



安全・安心な学校づくり

- 〇菅生小児童見守り隊との連携・協力
- 〇常総市防災教育委員会による防災教育の充実
- 〇避難訓練・交通安全指導による危険への予測・回避 能力の育成
- 〇安全管理の徹底(安全点検表と点検方法の見直し)
- 〇110番の家の確認と活用

地域とともにある学校づくり

- ○保幼小中高の連携による学校づくりの推進
- 〇ホームページ及びメールでの情報発信
- 〇地域の人財を活用した学習活動(環境教育・防災教育)
- 〇信頼関係形成のための「課題の共有化」
- 〇地域との交流による郷土愛・豊かな心の育成



菅生沼タチスミレ観察会

働き方改革への取組

- ○組織力を高め、教職員相互の業務負担感の軽減のためのワークシェア
- 〇ねらいと関連性でつなぎ結合する学校行事の精選実施